

2026-07-07

MORNING DISPATCH / Vibe Coder Bootcamp Tech News

今朝のホットな話題

2026-07-07 — Vibe Coder Bootcamp Tech News

1. 🔍 Google 「Gemma 4」 — エンコーダーフリーの統合マルチモーダル、ノートPCでローカル動作・Apache-2.0
2. 🔍 OpenAI 「GPT-5.6」 Sol/Terra/Luna — 公開 Codex リポにモデル名が出現、一般公開が目前（観測）
3. 🔍 Meituan 「LongCat-2.0」の重みがMITで完全オープンソース公開 — 1.6兆パラメータ MoE の実物ドロップ



6 6トピックを整理。

🔍 何が起きた？

Google/DeepMind が新しいオープンモデル「Gemma 4」を公開。
 テキスト・画像・音声・動画を1つのアーキテクチャで処理する
 「エンコーダーフリー (encoder-free)」の統合マルチモーダル設計が最大の特徴。

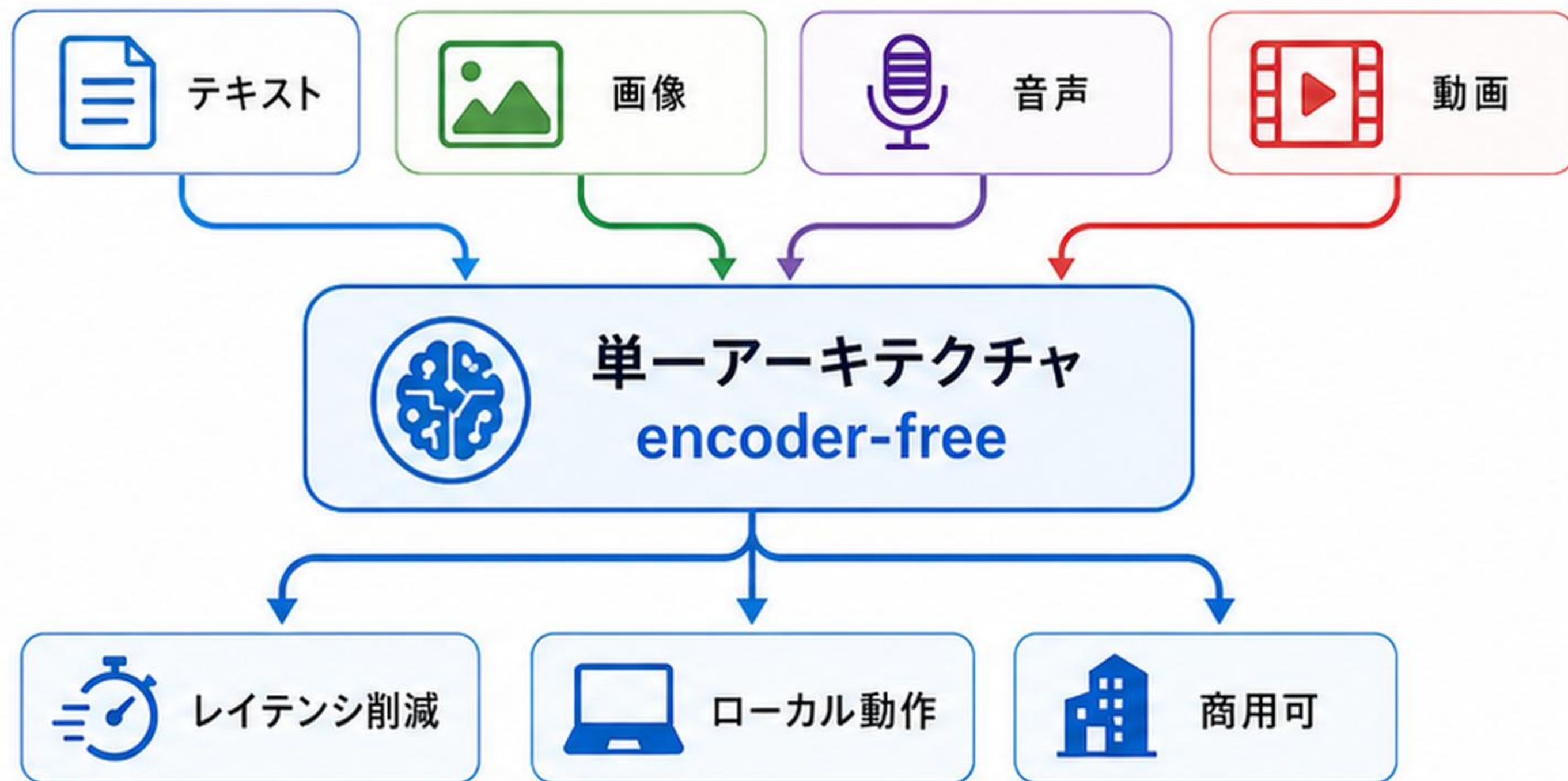
🚀 主な変更点

- テキスト/画像/音声/動画を単一アーキで処理
- 分割エンコーダを置換し、視覚/音声ごとの別パイプラインを不要に
- 分割エンコーダのレイテンシを排除
- 12B と 31B のバリエーション
- 31B instruction-tuned は HuggingFace 公開、画像+テキスト入力対応
- Apache-2.0 (商用可)
- ノートPC等の消費者ハードでローカル動作を想定
- E2B/E4B エッジ版は軽量だが、複雑なエージェントタスクでは品質低下との実測評も

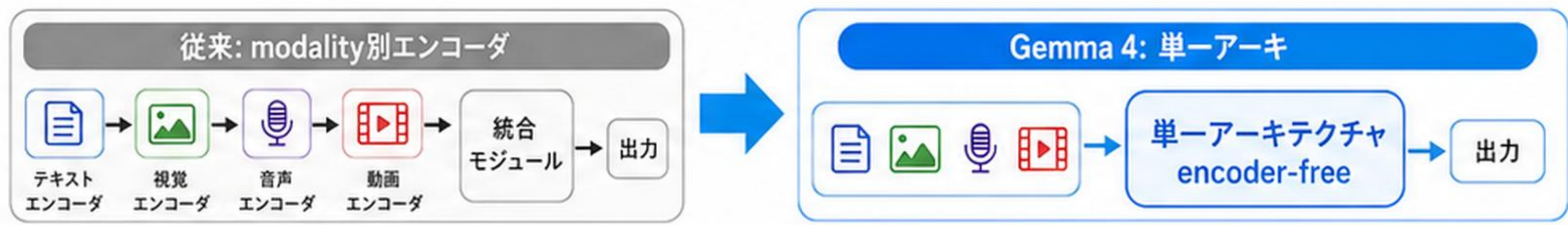
💡 なぜ重要？

Google の戦略は「パラメータ規模でなく、パラメータあたりの知能+広い展開性の最大化」。ローカル動作・商用可ライセンス・統合マルチモーダルで、開発者と企業が扱いやすいオープンモデルを狙う。

Gemma 4: encoder-free 統合マルチモーダル



12B バリエーション	31B instruction-tuned / HF	Apache-2.0 商用可	E2B/E4B 軽量エッジ版
-----------------------	--------------------------------------	--------------------------	--------------------------



1. 🔍 何が起きた？

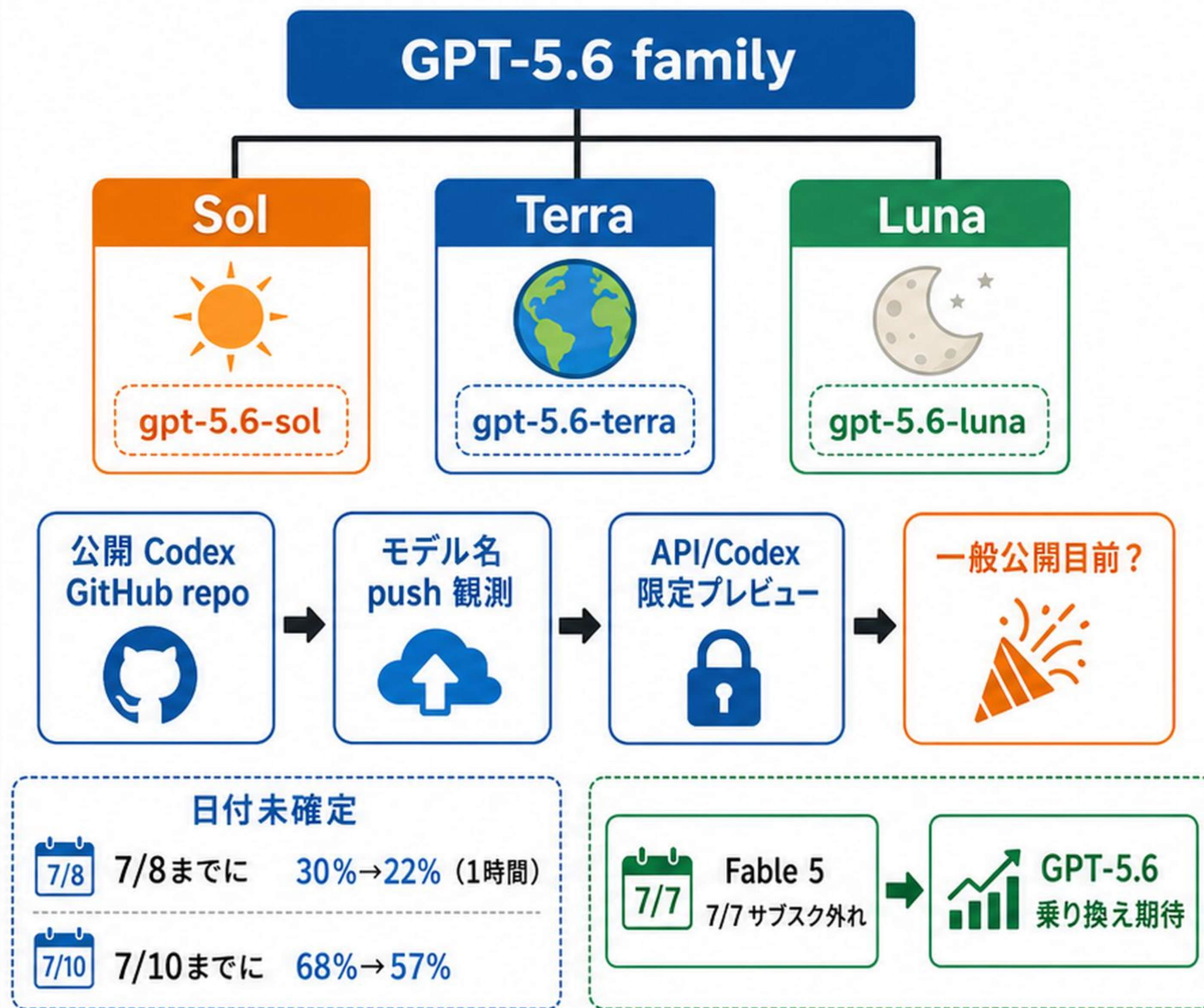
OpenAI の次世代「GPT-5.6」ファミリー（Sol / Terra / Luna の3階層）について、公開 Codex の GitHub リポジトリにモデル名 gpt-5.6-sol / -terra / -luna が追加されたのが観測され、一般公開が目前との見方が強まっている。現状は ChatGPT ではなく API/Codex 限定のプレビュー扱い。

📌 2. 主な変更点

- 公開 Codex リポに gpt-5.6-sol / -terra / -luna のモデル名が push されたのが観測 (@CodeByNZ、Likes 136) — リークでなくリポ上の実物。
- 現状は API/Codex 限定プレビュー。
- 米政府の早期アクセス・追加監視要請で限定に留まるとの観測も。

💡 3. なぜ重要？

- リリース日は Polymarket で乱高下。「7/8までに」が1時間で 30%→22%、「7/10までに」が68%→57%。日付は未確定。
- Fable 5 が本日 7/7 でサブスクを外れるタイミングと重なり「Fable 離脱→GPT-5.6 乗り換え」を見込む声。



何が起きた？

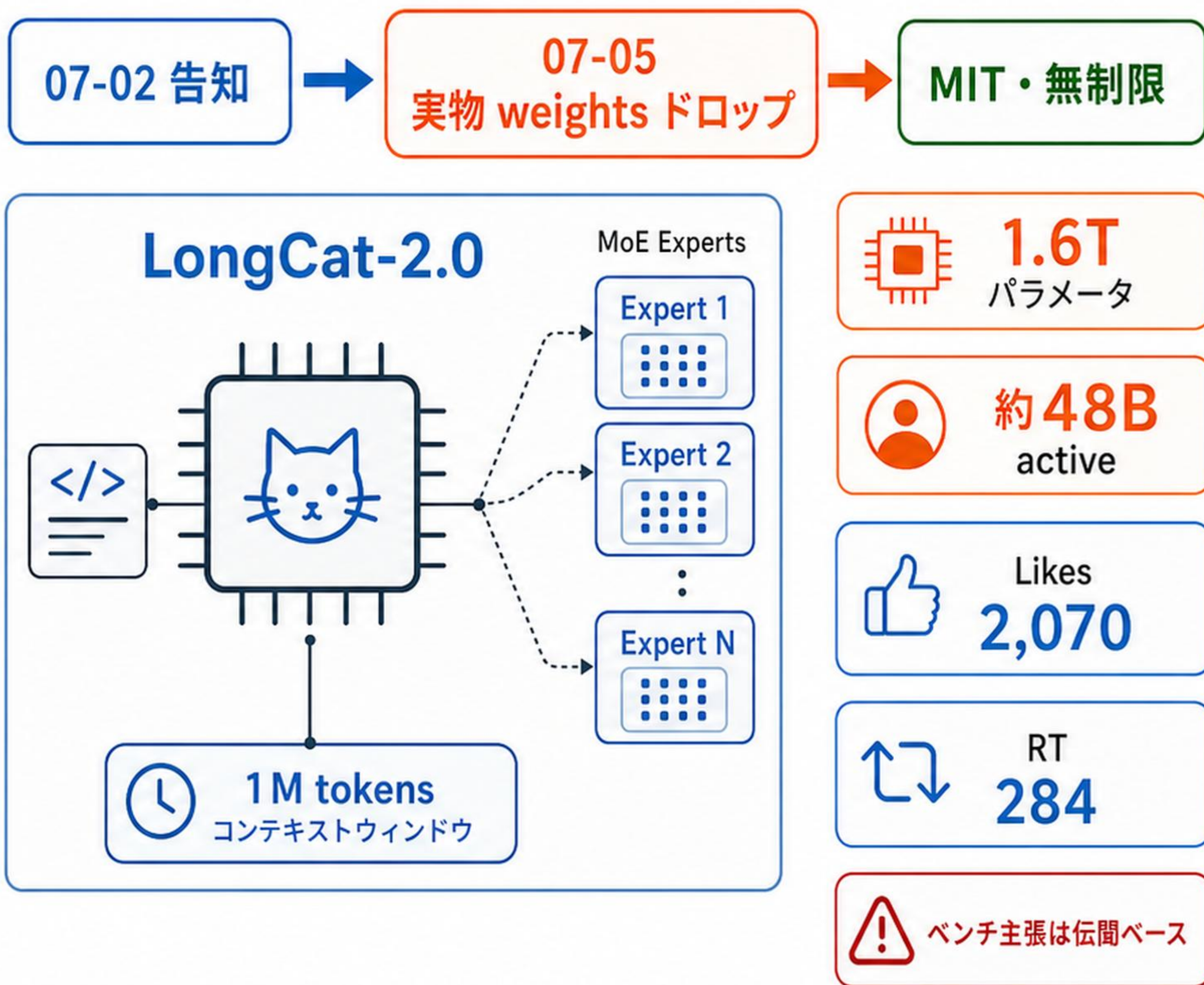
中国・美团（Meituan）の LongCat チームが、MoE コーディングモデル「LongCat-2.0」のモデル重みと推論コードを MIT ライセンスで完全公開。07-02 の公開告知から一歩進み、07-05 に制約なしの実物 weights がドロップ。

主な変更点

- LongCat-2.0: 1.6T パラメータ / アクティブ約 48B の MoE
- weights と推論コードを MIT・無制限で公開
- 1M トークンのコンテキスト、コーディング特化
- 公式投稿: Likes 2,070 / RT 284

なぜ重要？

大規模 MoE の実物重みが商用利用しやすい MIT で出たことが重要。英語圏では「中国のフードデリバリー企業が GPT-5.5 をコーディングベンチで上回った」と拡散。ただしベンチ主張は伝聞ベース。



Anthropic 「Security Skills in Claude」 — ワンコマンドでコーディングエージェントをセキュリティレビューチーム化

何が起きた？

Anthropic (MindFort チーム) が、リポジトリに対するセキュリティレビューチームとして機能するオープンソースの「Security Skills」を公開。

主な変更点

- curl ワンコマンドで導入
- Claude Code / Cursor / Codex 等に対応
- 無料・オープンソース
- 15スキル構成
- コミュニティ発の別レポ「Anthropic-Cybersecurity-Skills」(mukul975) も今週 約21k★・800超スキルでGitHubトレンド入り (※公式15スキルとは別物)

なぜ重要？

- コーディングエージェントを脆弱性レビューに使えるようにする。
- 実運用例: アルバータ州政府が Claude Code で4.66億行を20時間でスキャンし脆弱性を発見と報告 (@AkshajSatyawada, 07-06)

ワークフロー



公式と別レポの比較

<p>公式: Security Skills (Anthropic / MindFort)</p> <p>15スキル</p> <p>公式に提供されるセキュリティレビュー特化スキル</p>	VS	<p>別レポ: Anthropic-Cybersecurity-Skills (mukul975)</p> <p>約21k★ / 800超スキル</p> <p>コミュニティ発の大規模スキル集 (※公式15スキルとは別物)</p>	<p>ポイント</p> <p>≠ 別物</p> <p>内容・目的・構成が異なる独立したプロジェクト</p>
--	----	---	--

実運用ハイライト

<p>アルバータ州政府 Claude Code を活用した大規模コードスキャンを実施</p>	<p>4.66億行 スキャンしたコード量</p>	<p>20時間 スキャンに要した時間</p>	<p>脆弱性を発見し、報告 (@AkshajSatyawada, 07-06)</p>
---	-------------------------------------	-----------------------------------	---

🔦 要点

Fable 5 が有料プランに含まれる最終日が本日 7/7。7/8 からは使用クレジット制 (\$10/\$50 per Mtok、Opus の2倍で Anthropic 最高価格) へ移行。窓が閉じる前に、Fable 5 自身へ Opus 4.8 向けの SKILL.md を書かせ、推論パターン・検証習慣・タスク分解を日常モデルに継承させる。

🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- 裏技: Fable に行で SKILL.md を書かせる

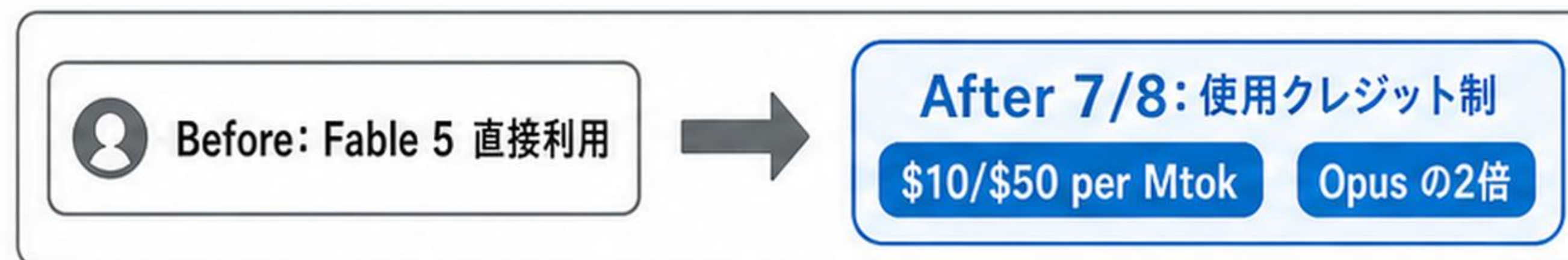
```
write a SKILL.md for Opus 4.8 capturing how you decompose hard tasks, verify your own work, and decide what to do next
```

- 6つの絞り取り方: ① 最難問を投げる ② 20メッセージより1本の大ブリーフ ③ effort は high 既定 ④ セッション跨ぎの .md メモリ1枚 ⑤ 報告前に自己検証させ偽「完了」を潰す ⑥ Opus 時代の過剰プロンプトは消す
- 締めに「Loop engineering の記事を読め」と誘導

🌱 なぜ刺さるか / 学び

核は「Fable へのアクセスは切れても Fable が書いたファイルは残る」。

Xでの反応: **BM 2,774** と保存数が突出。締切前に SKILL 化を試す動きが広がった。



“モデルは消えてもファイルは残る。”

Xでの反応
BM 2,774
保存数が突出

💡 要点

kaize の「Fable に SKILL.md を書かせる」提案を具体化し、実際に /fable Skill を作成。Fable が難タスクで迎える5フェーズ (Phase 0~4) と冒頭3原則を言語化。Opus 4.8 に読み込ませ、Fable 5.0 の出力に近づけるのが狙い。

🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- 冒頭3原則: ①完了条件を先に固定 (検証方法が書けない = 理解不足) ②主張でなく観測を信じる ③次の一手は「今いちばんリスクが高い場所」で選ぶ
- Phase 0: 触る前に3行 (完了条件 / 検証方法 / やらないこと)
- Phase 1: 偵察で「事実 / 仮定 / 不明」に仕分け。最も危険なのは事実のふりをした仮定
- Phase 2: 独立に検証できる単位でリスク順に分解。簡単な所から片付けるのは罫
- Phase 3: 1ピースずつその場で検証し、4つの自問で次手を選び直す
- Phase 4 (心臓部): 別の層で確認・境界値で壊しに行く・各原因説明に観測の証拠を1つずつ・依頼原文突き合わせ・diff通読

🌱 なぜ刺さるか / 学び

Xでの反応: BM 840。kaize の提案の具体的 Before/After として受け取られ、実装テンプレとして保存する動きが目立った。

5フェーズで Fable 化

冒頭3原則



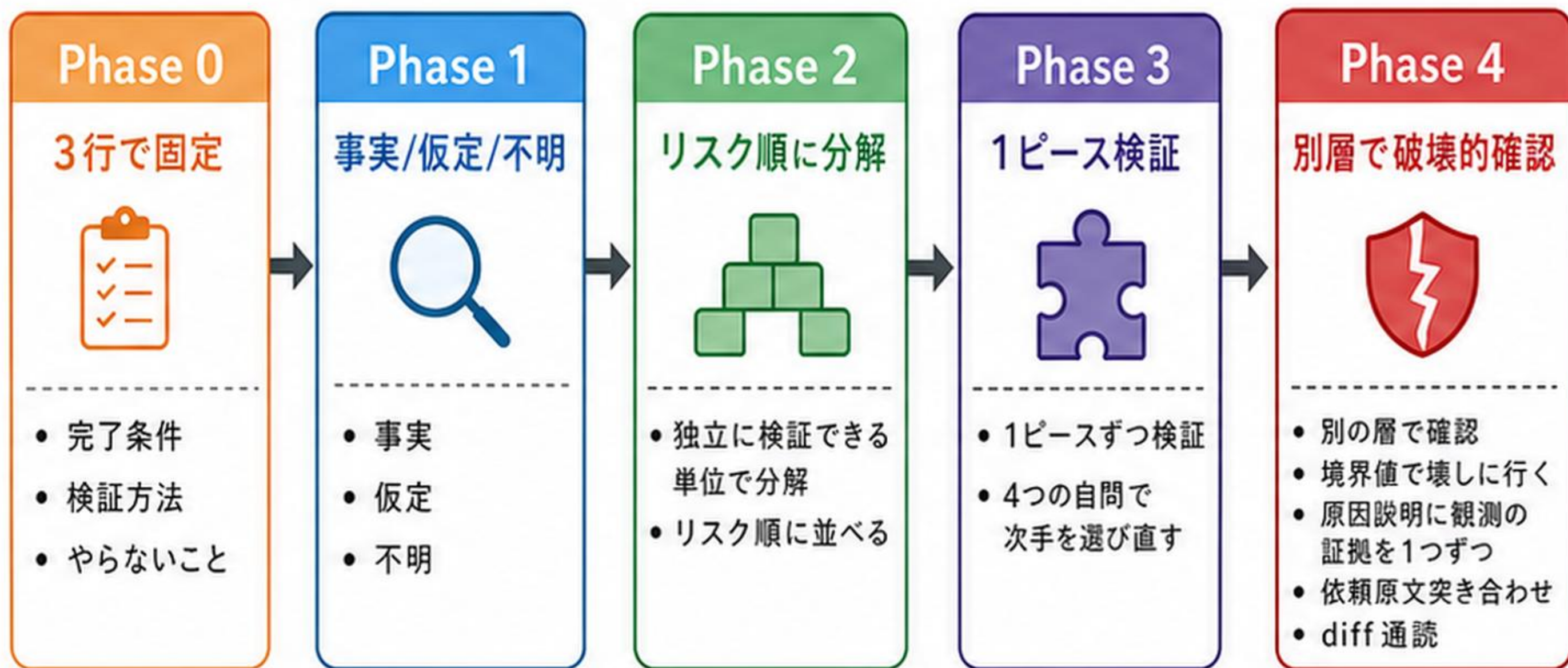
完了条件



観測



最高リスク




Before: Opus 4.8




After: Fable 5.0 に近づける



本日のトピック一覧

1  **Google 『Gemma 4』** — エンコーダーフリーの
統合マルチモーダル、ノートPCでローカル動作・Apache-2.0



2  **OpenAI 『GPT-5.6』 Sol/Terra/Luna** — 公開
Codex リポにモデル名が出現、一般公開が目前（観測）




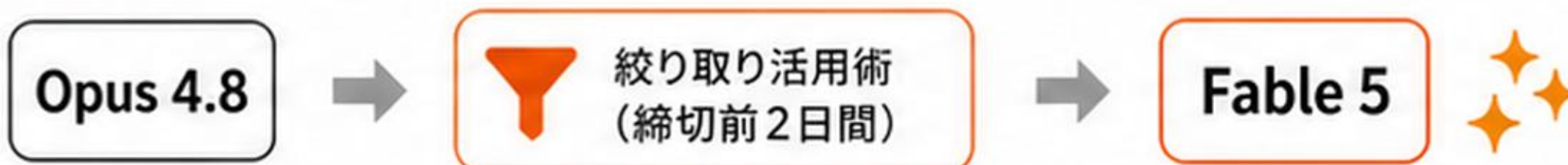
3  **Meituan 『LongCat-2.0』**の重みが MIT で
完全オープンソース公開 — 1.6兆パラメータ MoE の実物ドロップ




4  **Anthropic 『Security Skills in Claude』** —
ワンコマンドでコーディングエージェントをセキュリティレビューチーム化



5  **Opus 4.8 を Fable 5 に『変える』** —
締切前2日間の絞り取り活用術 (@0x_kaize)



6  **/fable Skill を自作** —
Opus 4.8 を Fable 5.0 の出力に近づける5フェーズ (@shotatykr)



出典サマリ: Google / OpenAI / Meituan / Anthropic / X community

